

点検業務における熱中症対策について

日本海電業株式会社

平成24年度神通川水系砂防事務所電気通信施設点検業務
(履行期間：平成24年4月1日～平成25年3月31日)

こんどう たけひこ

管理技術者 近藤 武彦



1, 業務委託概要

本業務は、神通川水系砂防事務所管内に設置されている電気通信施設の点検を行うもので各設備の運用状況の把握と機能確保を目的とします。

また、障害が発生した場合は迅速に対応し、障害の早期復旧に努めます。

2, はじめに

近年、猛暑が続き、熱中症による緊急搬送件数や死亡事故が増加するなど健康被害が数多く報告されるようになって行きました。更に今年の夏も平年並みか高めと長期予報が出ていました。

これらを踏まえて、7, 8月の最も熱中症の発生しやすい時期に例年以上の熱中症対策が必要と感じました。

3, 熱中症とは

熱中症とは、室温や気温が高い中での作業や運動により、体内の水分や塩分(ナトリウム)などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体がだるい、ひどい時には、けいれんや意識の異常など、様々な症状をおこす病気です。家の中でじっとしていても室温や湿度が高いために、熱中症になる場合があります。

4, 熱中症の状況

平成24年度6月から9月までの間に、岐阜県内で熱中症による緊急搬送がされた人数は839人でした。

平成23年度の搬送人数は、843人と比べ、平成24年度は4人の減少となっています。

傷病程度別(平成23年度6～9月)に見ますと、軽症が473人(56.1%)と最も多く、次いで中等症352人(41.8%)、重症17人(2.0%)、死亡1人(0.1%)の順となっています。

平成22年と比較すると死亡者数が4人から1人に減少しました。重症は44人から17人に減少し、構成比では2.0ポイントの減少となりました。中等症の構成比は平成22年とほぼ変わらず、軽症の構成比は2.0ポイントの増加となりました。

平成23年6～9月の熱中症搬送状況

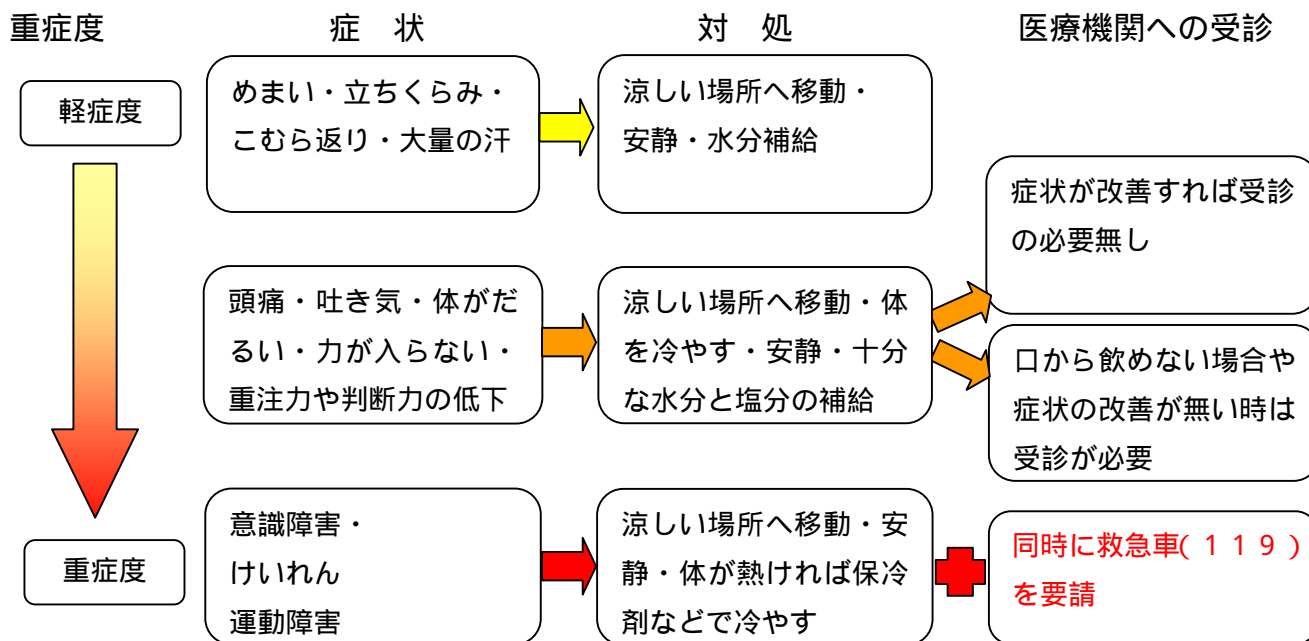
(岐阜県内)

	年齢区分(人)						初診時における傷病程度(人)					
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
6月	0	1	11	49	80	141	0	9	65	67	0	141
7月	0	1	75	102	150	328	1	4	148	175	0	328
8月	0	2	36	135	134	307	0	4	119	184	0	307
9月	0	0	32	18	17	67	0	0	20	47	0	67
計	0	4	154	304	381	843	1	17	352	473	0	843
割合	0.0%	0.5%	18.3%	36.0%	45.2%	100.0%	0.1%	2.0%	41.8%	56.1%	0.0%	100.0%

(傷病程度について)

- ・死亡 初診時において死亡が確認されたもの
- ・重症 3週間以上の入院加療を必要とするもの
- ・中等症 重症または軽症以外のもの
- ・軽症 入院加療を必要としないもの
- ・その他 医師の診断がないもの及び傷病の程度が判明しないものなど

5. 熱中症の分類と対処方法



6. 熱中症対策

対策 : 作業員への周知

安全教育の中で、まずは熱中症に対する正しい知識を知って貰う為、資料をまとめて作業員に配布した。水分補給のタイミングや、熱中飴で塩分を補う等、基本的な事を徹底して貰いました。

作業者の作業動作、温熱条件（輻射熱、温度、気流など）をよく観察し、状況に応じて休憩時間などを前倒しする。

屋外作業の場合は、作業の支障のない範囲でつばの広い帽子や通気性のよい帽子、風通しのよい作業着等を着用する。

適宜、給水、スポーツドリンク、熱中飴の補給などができる様に配備する。

同じ作業を長時間継続させないで、作業のローテーションを早める。(例)45～60分毎



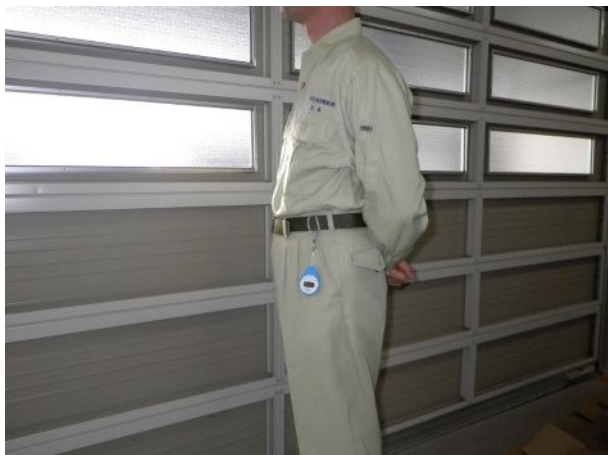
対策 : 熱中症Kit

また熱中症を引き起こした時の為に熱中症対応Kitを準備し、作業車両に載せた。実際、作業員の体温上昇を防ぐ目的で、衣類に吹きかける冷却スプレーを使用してみた。衣服に吹きかけると、ある程度持続力があり1時間程ヒンヤリし、作業が大分楽になったとの事だった。



対策 : 熱中症計

熱中症発生の目安として、携帯型を使用してみました。「危険」「嚴重警戒」「警戒」「注意」「ほぼ安全」の5段階で「危険」「嚴重警戒」でブザー鳴り知らせてくれます。ただ、個人差か体感的なものなのか、それ程暑く感じなくてもブザーが10分毎になる時もありました。しかし、あまり頑張り過ぎる前に休憩をとる目安になるので、それなりの効果はあったと思います。



7, 状況写真



8, まとめ

履行前に力を入れようと思っていた「熱中症対策」は、症状の軽い、めまい等も起きなかった事から、上々だったのではないかと思う。しかしまだまだ作業環境は暑く厳しかった。今後も熱中症対策については力を入れていきたい。

最後になりますが、点検業務を履行するにあたり、より一層の安全作業を仕組み無事故、無災害で業務を進めたいと思います。